木になり
鳥になり

北海道大学大学院文学研究科

ミュージアム学芸員の企画展制作〈立案・運営・評価〉スキル養成深化プログラム

「學藝リカプロ」は 3 年間で企画展制作のスキルを学ぶ、ミュージアム学芸員のためのリカレント教育プログラムです。講義・特論・実習・実践を通して、最終的に、実際の展示制作・運営、および受講生が勤務するミュージアムで実現できる企画案の作成をプログラムの成果とします。また、毎年の進捗や成果をシンポジウム等で広く公開します。

1. 育成対象者

- 美術館・歴史系博物館の学芸員
- 文化施設等の専門職員
- 文化行政に携わる自治体職員等
- 学芸員職を目指す大学院生等

2. 育成の意義

2-1. 背景

社会的な要請

現代社会がミュージアムと学芸員に求める役割は近年ますます高度化・多様に多様化している。

↓

博物館の現状

しかし現実には、現場の学芸員は日常業務に追われ、企画力や展示スキル、マネジメント力等を体系的に習得し直すことが困難。

↓

博物館界の課題

学芸員資格関連科目の改定や上級学芸員制に関する議論もあるが、いま、現場にいる学芸員の学びは、喫緊の課題である。

2-2. 育成の意義と社会的効果

受講生にとって

実務によって身につけてきた実践知を体系的に整理し、展覧会の企画、事業の評価、館全体のマネジメント等の課題を明確化できる。

地域の博物館にとって

業務の枠組みを超えた人的ネットワークが形成され、人材、コネクション、情報の活用が推進されるとともに、館の企画力が高まる。

市民・地域にとって

国内外の博物館での新しい取り組みや博物館学の最新の成果を、地域文化の具体的な実践のなかに落とし込み、市民に還元できる。

大学にとって

学芸員養成課程修了後の現役学芸員と接点を持ち続けることで、大学と博物館、大学と地域との新たな関係を構築できる。

博物館界にとって

学芸員のためのリカレント教育の具体的モデルを示し、人材育成をめぐる議論の土台となることができる。

文化政策全般にとって

現場の学芸員や市民との双方向のコミュニケーションをはかりつつ、文化政策上の現実的課題を掘り起こすことが期待できる。

3. プログラムの内容・特色

- 地域文化のリーダーとして期待されている学芸員、自治体職員等を対象とした、専門的かつ高度な学びを創出する。
- ミュージアム界に近年導入されたが、まだ定着していない考え方やスキル、動向を積極的に紹介し、地域に根付かせる。
- シンポジウムや講義に加え、実際に企画展を制作する実習を組み込むことで、実体験を通じた体系的な学びを提供する。
- 北海道大学総合博物館をはじめとする学内のリソースを有効活用しつつ、地域と連動したリカレント教育のあり方を探る。

4. 平成 30 年度事業における取り組み

公開シンポジウム
いまこそ〈企画力〉　企画展制作の立案・運営・評価

平成 30 年 7 月 22 日　13：00 ～ 16：00　会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

本プログラム全体のキックオフ・イベントとして、公開シンポジウムを開催。一般来場者を含む 89 名が、パネリストたちの講演と討議に熱心に耳を傾けた。

特論 1
くみたて和室 × 煎茶のコラボレーションイベント

平成 30 年 9 月 22 日　13：00 ～ 16：30　会場：北海道大学工学部建築都市スタジオ棟

北大工学研究院が開発した「くみたて和室」と、煎茶一茶庵・佃一輝氏とのコラボレーション。現代の展示や鑑賞教育を再考する機会となった。

講義 1
企画展立案：事例研究

平成 30 年 7 月 23 日・30 日　13：00 ～ 17：00　会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

5 名の講師が、近年の注目すべき展覧会企画やミュージアムの運営について講義した。コレクションと展覧会、地方公立館の連携、マスコミとの関係など、多岐にわたるテーマが取り上げられた。

特論 2
企画展を装飾するギャラリートークと舞台芸術 - 先住民文化とフィギュアアートシアター

平成 30 年 8 月 26 日　14：00 ～ 16：30　会場：札幌市こどもの劇場 やまびこ座

先住民文化をテーマとした人形劇の上演と、それに続く対談・講義を開催。大学、劇場、ミュージアムといった場の共通点や、アートと考古学の双方に求められる想像力について、理解を深めた。

5. 今後の展開

今年度
事業評価、会場造作等に関する講義
展覧会企画立案に関する実習
成果報告公開シンポジウム

→

次年度以降
グッズ、教育プログラム等の開発
企画立案の実習と展覧会の制作と運営
事業評価の実施

→

地域文化のリーダーとなる人材の育成
地域ミュージアムの新たな価値の創出
地域の文化発信力の底上げ

學藝
リカプロ
Museum Curators' Recurrent Education Program: Planning, Management, Evaluation